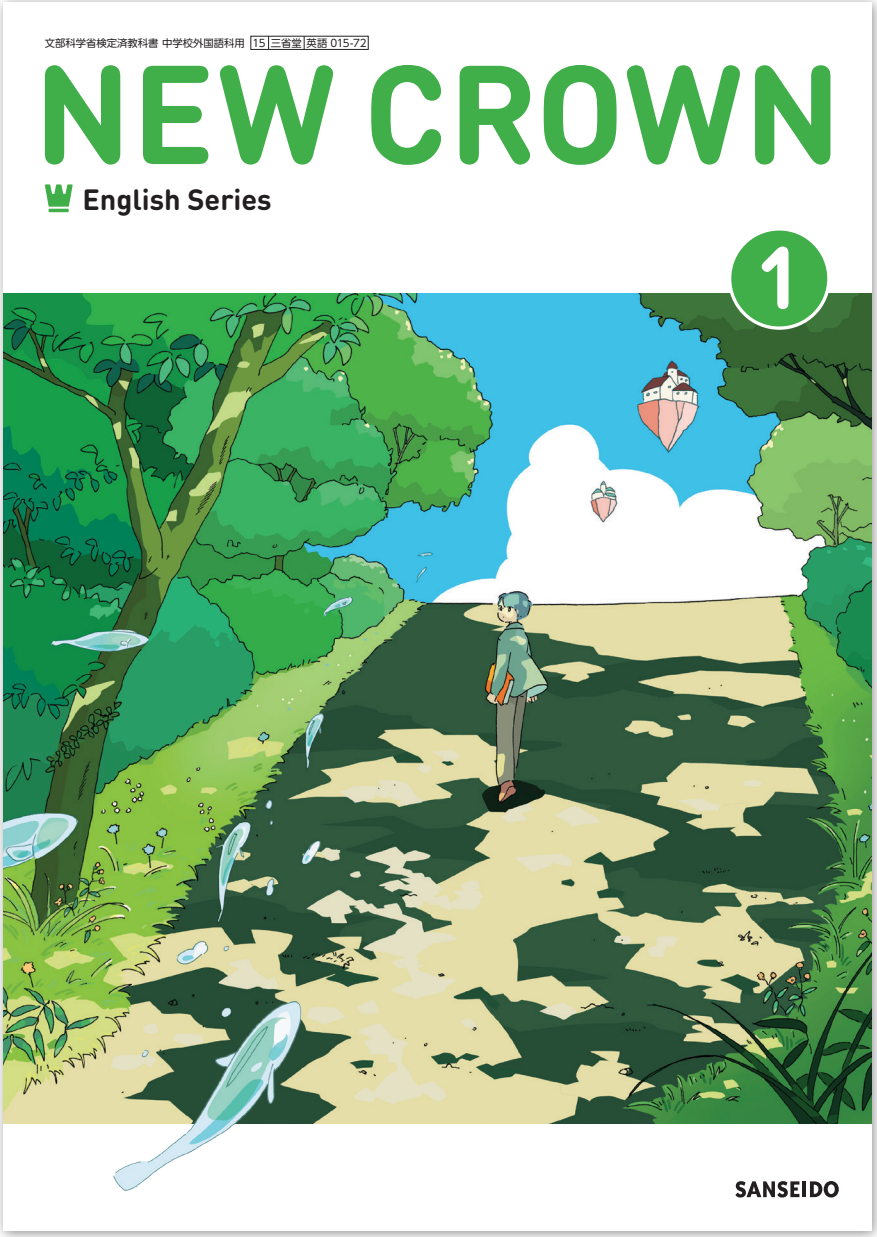
15	三省堂	1年 015-72	2年 015-82	3年 015-92

令和 7 年度版 中学校英語教科書 内容解説資料

NEW CROWN

ラウンド制の授業に対応した ワークシート



もくじ

思考力・判断力・表現力の基礎を培う ラウンド制の授業 …… 2
ワークシート　Round 1 ～ 2 …… 4
ワークシート　Round 3 …… 5
ワークシート　Round 4 ～ 5 …… 6
Q&A …… 7

ウェブサイトも
ご活用ください！

https://tb.sanseido-publ.co.jp/07ncpr/

この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しております。

SANSEIDO

思考力・判断力・表現力の基礎を培う ラウンド制の授業

『5 ラウンドシステム』に代表されるラウンド制の指導は、**教科書本文に何度も触れることで定着を目指し、使える英語を身に付けるための指導法**です。英語が使えるようになるには、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりと、とにかく繰り返し触れることが大事です。日本のように学校の外で英語を使う機会がそれほど多くない環境では、生徒が繰り返し英語に触れ、英語を使う機会を授業中に担保する必要があります。それを実現させる方法の一つがラウンド制の指導です。4 ～ 5 つのステップを踏みながら教科書本文を繰り返し学習します。回を重ねるごとに少しずつわかることが増えていき、最後は教科書の英文を自分の言葉として使えるようになることを目指します。

ラウンド制の授業のおおまかな流れは、**音声とイラストを通して本文の内容をざっくりと理解した後、本文を読み、様々な音読練習をし、最後にリテリングをする**というものです。そして、これらの活動の合間に、教科書の内容に関連して、個人の体験や意見を話したり、感想を付け加えてお互いに共有したりして、教師と生徒が、あるいは生徒同士が英語でやり取りをする活動などを挟むことで、教科書の英語を自分の言葉として使えるようになることを目指します。

また、ラウンド制の特徴として、「少しずつわかることが増える」経験をすることが挙げられます。「何度も繰り返した後には理解できる」という経験を通して、わからないことへの耐性が鍛えられます。その結果、**未知の単語に出会った時も、止まることなく読み続けたり、聞き続けたりすることができます。**このような経験は、その後の生徒の英語学習にも良い影響を与えることが期待できます。

最後に、観点別評価との関連性について、**各ラウンドの活動では主に知識・技能の部分、つまり思考力・判断力・表現力の基礎となる力を培います。**NEW CROWN では、4 ～ 5 つのラウンドでの学びを通して身に付けた英語を使って、Goal Activity や Take Action! などのコーナーで、目的や場面、状況をより意識した活動に取り組みます。前述したように、各ラウンドの授業の中で、教科書の内容にまつわるちょっとした英語でのやり取りを細かく入れ込んでいくことで、思考力・判断力・表現力の育成に直結する知識・技能を培うことができます。基礎力なくして応用力は育ちません。生徒の英語力を効率よく伸ばすための方法の 1 つとして、ラウンド制の授業に取り組んでみてはいかがでしょうか。

臼倉 美里
（東京学芸大学）

ラウンド制の授業とNEW CROWNの特色

ラウンド制では、連載物語を読み進めるような感覚でまとまった英文に触れることを繰り返すため、教科書本文のストーリー性が大切になります。新しい NEW CROWN は、さまざまな題材を楽しめるストーリーでつないでいますので、ラウンド制の授業にも最適です。

楽しみながら読める、味わい深いストーリー

文化祭のステージに出演することになった陸たち。メンバー 3 人でどんな曲を演奏するか話し合い（Part 1）、いよいよ文化祭の日を迎えます（Part 2）。

文化祭の準備（3 年 Lesson 2）

陸たちはどの曲を選んだのかな?

個性豊かな登場人物

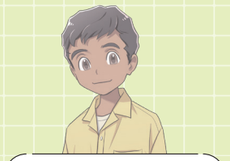
Hana
わかば市出身。3 歳からサッカー一筋。

Riku
わかば市出身。時間があればギターを練習している。

Mark
アメリカ出身。陽気で、クラスのムードメーカー。

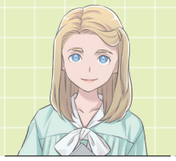
Kate
オーストラリア出身。写真と旅行が趣味。

Jing
中国出身。ダンスが得意で、アニメが好き。



Dinu
インド出身。中 1 の 4 月に来日。将来の夢は映画監督。

Mr. Oka
わかば市出身。妹はわかば小学校で教師をしている。



Ms. Brown
イギリス出身。わかば中学校の ALT。

NEW CROWNを使った
ラウンド制の授業展開例

ラウンド制の授業の進め方は主に次の 2 種類があります。

❶ラウンド 1 の活動を Lesson 1 ～ 8 まで続けた後、ラウンド 2 を Lesson 1 ～ 8 まで、ラウンド 3, 4 ... と、ラウンドごとにすべての単元を一気に扱うパターン。

❷ Lesson 1 をラウンド 1 ～ 5 まで行い、続けて Lesson 2 のラウンド 1 ～ 5、Lesson 3, 4 ... と、Lesson ごとにラウンド 1 ～ 5 を繰り返すパターン。

Round 1

イラストと音声で、ストーリーの概要を捉える

場面を表す絵を見ながら音声を聞いて、ストーリーの流れや概要を捉えます。イラストを見たり、並べ替えたりしながら、何度もくり返し英文を聞くことで、話の細部や単語、文法ではなく、場面設定や登場人物の心情などについて理解を深めます。

指導手順

❶ 音声を通しで聞いて、イラストを並べかえる。

❷ 音声を通しで聞いて、「?」の問いに答える。

Round 1 ❶ イラストを並べ替えよう！
音声を通して聞いて、話の内容に合うようにイラストを並べかえよう。
1
( )
ケイトの横にいるのはだれ？
陸は何をしているのかな？
( )
4

Round 1 ❷ 聞き取った内容を確認しよう！
音声を通して聞いて、話の内容に合うようにイラストを並べかえよう。
Part 1
Scene 1
Q 陸が写真を見て驚いたのはなぜですか。
1
2
Scene 2

Round 2

音声を聞きながら、本文のテキストを確認する

Round 1 でストーリーを大まかに理解した後は、音声を聞きながら本文のテキストを見て確認します。英文を指で追ったり、聞こえた語句をチェックしたり、聞こえた順に英文を並べ替えたりする活動を通して、音と文字を一致させます。

指導手順

❶ 音声を聞いて、指で文字を追う。

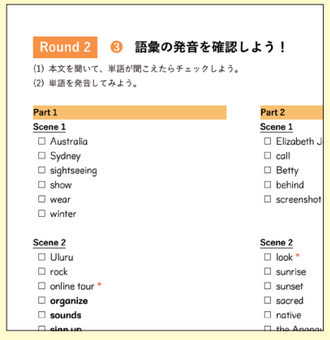
❷ 話者になりきって音読する。

❸ 単語を確認する。

Round 2 ❶ 指で文字を追ってみよう！
本文を聞きながら、指で文字を追ってみよう。
Part 1
Scene 1
Riku: What did you do in Australia?
Kate: I went to my aunt's house in Sydney.
We went sightseeing every day.
I'll show you some pictures.
Riku: Oh! You're wearing a coat and gloves.
Was it cold?
Kate: Yes. It was the middle of winter there.
Riku: Oh, that's right.
Scene 2
Riku: What's this? Is it a mountain?
Kate: It's Uluru. It's actually a very big rock.

Round 2 ❷ キャラクターになりきって音読しよう！
(1) キャラクターを 1 人選んで、その人に注目して音声を聞こう。
(2) 音声を聞きながら、選んだキャラクターのセリフを音読しよう。
Part 1
Scene 1

Riku	Kate
What did you do in Australia?	I went to my aunt's house in S went sightseeing every day. I some pictures.
Oh! You're wearing a coat and gloves. Was it cold?	Yes. It was the middle of wint
Oh, that's right.	


Round 2 ❸ 語彙の発音を確認しよう！
(1) 本文を聞いて、単語が聞こえたらチェックしよう。
(2) 単語を発音してみよう。
Part 1
Scene 1
☐ Australia
☐ Sydney
☐ sightseeing
☐ show
☐ wear
☐ winter
Scene 2
☐ Uluru
☐ rock
☐ online tour *
☐ organize
☐ sounds
Part 2
Scene 1
☐ Elizabeth J
☐ call
☐ Betty
☐ behind
☐ screenshot
Scene 2
☐ look *
☐ sunrise
☐ sunset
☐ sacred
☐ native

Round 3

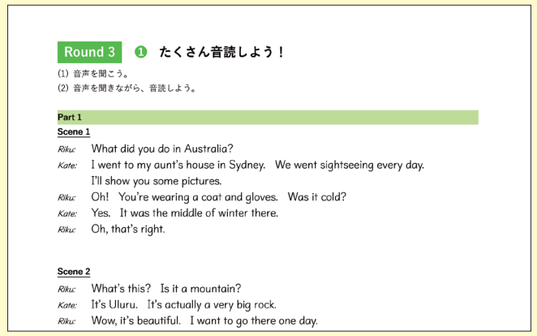
本文のテキストを見ながら、くり返し音読する

Round 1・2 でインプットした音声を生かして、本文のテキストを見ながら音読をします。モデルの音声を何度も確認し、さまざまな方法でくり返し練習します。また、ストーリーの詳細を整理する活動に取り組むことで、本文の内容をより深く理解します。

指導手順

❶ さまざまな方法で音読する。

❷ 本文の内容を整理する。


Round 3 ❶ たくさん音読しよう！
(1) 音声を聞こう。
(2) 音声を聞きながら、音読しよう。
Part 1
Scene 1
Riku: What did you do in Australia?
Kate: I went to my aunt's house in Sydney. We went sightseeing every day.
I'll show you some pictures.
Riku: Oh! You're wearing a coat and gloves. Was it cold?
Kate: Yes. It was the middle of winter there.
Riku: Oh, that's right.
Scene 2
Riku: What's this? Is it a mountain?
Kate: It's Uluru. It's actually a very big rock.
Riku: Wow, it's beautiful. I want to go there one day.

Round 3 ❷ 本文の内容を整理しよう！
音声を聞きながら次の問いに答え、ペアで確認しよう。
Part 1
Scene 1
話の内容に合うように、あてはまることばを書こう。
Kate's Summer Vacation
・ケイトは、シドニーの＿＿＿＿＿＿に行った。
・写真に写っているケイトが＿＿＿＿＿＿と＿＿＿＿＿＿を身につけていたのは、オーストラリアが＿＿＿＿＿＿だったから。
Scene 2
話の内容に合うように、ケイトが陸に提案していることを○に書こう。

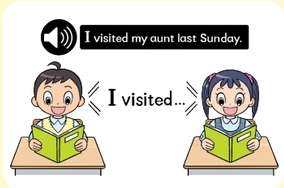
例 音読の方法

Repeating

1 文やフレーズごとに区切られた英語を見ながら［英語を見ずに］、モデルの音声に続けて、クラス全体で発話します。

Overlapping［Shadowing］

英文を見ながら［英文を見ずに］、モデルの音声と同時に［音声から少し遅れて］、クラス全体で発話します。



Buzz Reading［四方読み］

時間や回数を決め、一人一人が自分のペースで音読します。［1 回ごとに 90 度向きを変えながら音読します］。

Read and Look-up

英文やチャンクを見ながら黙読や音読をした後、顔を上げて視線を外し、読んだ英文やチャンクを再現します。

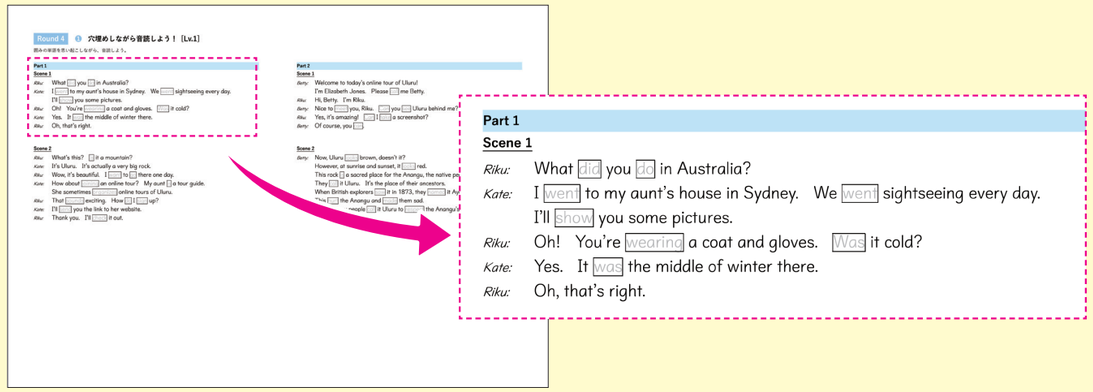
Round 4

さまざまなワークシートを活用して音読する

Round 3 の音読活動を発展させ、さまざまなワークシートを活用して音読に取り組みます。ワークシートでは、動詞や名詞、重要表現などを空欄にしたり、主語だけを示したりすることで、分量や難易度を調整しつつ、文構造や言語形式にも意識を向けさせます。

例 ワークシート

- ❶ 穴あき　Lv.1　（動詞が抜けている）
- ❷ 並び替え　（一部が並び替えになっている）
- ❸ 穴あき　Lv.2　（主語以外が抜けている）
- ❹ 穴あき　Lv.3　（全文抜けている）
- ⑤ ノート　（❷を見ながら本文を書く）



Round 5

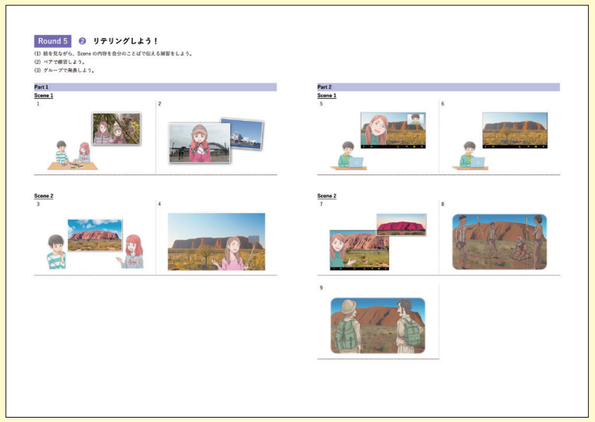
イラストを見せながら、リテリングする

Round 1-4 の活動を通して理解した内容を整理し、身につけた語句や表現を生かして、イラストを見せながら、ストーリーを自分の言葉でわかりやく相手に伝えます。話した内容をワークシートにまとめることで、ライティングの活動にも取り組みます。

指導手順

- ❶ リテリングのモデルを黙読する。
- ❷ 伝える内容を整理し、リテリングする。
- ❸ リテリングで話したことを書く。

My friend Kate went to Sydney to visit her aunt. She enjoyed sightseeing every day. She showed me some pictures. She was wearing a coat and gloves because it was the middle of winter in Australia....



Q&A ラウンド制の授業について教えて！

Q ラウンド制で指導するメリットはありますか？

A ラウンド制の指導は、教科書本文に何度も触れることに重点を置き、使える英語を身に付けるための方法です。英語を日常的に使う機会が少ない日本のような環境では、授業中に生徒が英語に繰り返し触れることが重要です。ラウンド制の授業では、聞く、読む、話す、書くという活動を通じて、教科書の内容を 4 ～ 5 つのステップで繰り返し学習します。これにより、生徒は英文を徐々に理解し、最終的には自分の言葉として使えるようになることを目指します。また、このプロセスは生徒が未知の単語に遭遇しても読み進める耐性を鍛え、その後の英語学習や高校入試にも良い影響を与えることが期待されます。

Q 文法や語彙はどのように扱うのでしょうか？

A ラウンド制の授業では、文法の解説は生徒が本文に十分に触れた後で行うことが多いです。例えば、「昔のことを話している英文を探してみよう」という指示を出して、それまでに扱った複数単元の本文から過去形の動詞が含まれる英文を探させます。その後、「動詞の形はどうなっているかな？」と生徒に問いかけ、過去形の形式への気づきを促します。生徒は、英文の意味がわかった状態で文の形式に注目することができるため、文法のルールを理解しやすくなります。また、語彙については、文脈からは判断しにくい話題語は、前もって導入することもありますが、それ以外は音読活動を行う前に発音の確認をする程度で、基本的には教科書に繰り返し触れることを通して語彙の定着を目指します。

Q 定期テストはどのようにするのでしょうか？

A 定期テストは授業の進度に合わせた問題を作成して実施します。例えば、主に音声で本文の内容を理解するステップを扱った期間の定期テストは、リスニング問題が中心のテスト問題を出題します。教科書の本文を使った問題だけでなく、教科書本文に類似した新規の会話を聞かせて内容理解を問うような問題を出題することもできます。また、音読を行うステップが中心の授業を行った後のテストでは、バラバラにした教科書本文を意味が通るように並べ替えさせる問題や、教科書本文に類似した新規の文章を読ませる問題を出題することもできます。

Q 本文以外の言語活動はどのように扱うのでしょうか？

A ラウンド制の授業はストーリー性が高い本文を扱うのに向いています。それ以外の言語活動については、無理してラウンド制の枠に当てはめて行うのではなく、年間指導計画の中で適切だと思われるタイミングで行うのが良いと思います。例えば、新しい NEW CROWN では、Goal Activity は本文を扱う授業を積み重ねた後に行うことが想定されていますから、最後のステップ（リテリング）が終わった後に取り組むのが良いかもしれません。また、Take Action! などのサブレッスンは、本文の内容とはそこまで関連性が高くないので、ラウンドとラウンドの間にまとめて取り組むこともできます。

Q 観点別評価はどのように行うのでしょうか？

A ラウンド制の授業で目指していることは、他の形式で行う授業と変わりません。そのため、観点別評価については、通常の授業と同じように行うことができます。ラウンド制の各ステップで行っている活動は、教科書本文自体の定着を目指していますので、知識・技能の観点との親和性が高いです。一方、本文の内容に関することについて、教師と生徒、あるいは生徒同士が英語でやり取りをしたり、自分の意見を書いたり、発表したりする場面では、英語を使いこなす力を育てていますので、思考力・判断力・表現力の観点との相性が良いです。定期テストに関する Q&A で述べたこととも関連しますが、例えば、教科書で扱った語彙・表現や文法が定着しているかを知識・技能の観点で評価し、本文を模した英文の概要・要点把握ができているかを思考力・判断力・表現力の（「読むこと」の）観点で評価する、ということも考えられるでしょう。

NEW CROWN についてもっと知りたい方は…

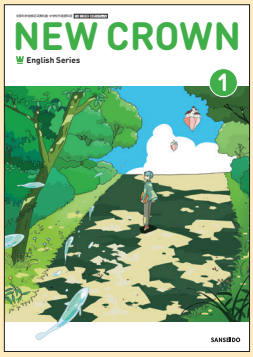
ウェブサイトをご活用ください！

https://tb.sanseido-publ.co.jp/07ncpr/

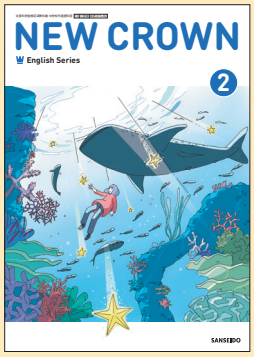
主なコンテンツ・資料

- 編修趣意書
- 指導・学習内容一覧
- 検討の観点と内容の特色
- 教師用指導書ダイジェスト
- 内容解説資料
- 別冊 しくみと使い方
- 別冊 指導と評価
- 別冊 小中連携
- Teaching English Now 特別増刊号
- Can-Do リスト
- 教科書 Q&A
- 著者 メッセージ動画

1年 出会い



2年 探究



3年 旅立ち

三省堂　〒102-8371　東京都千代田区麹町五丁目7番地2　電話　03-3230-9411